

‘2014.長月

パソコン教室新刊

ネットのサービスやスマホのアプリなど、便利なツールはたくさんあります。新聞でも様々取り上げてもらいました。しかし、**安全面**がどうじょひであります。

パスワードの管理

アマゾンや楽天などのお買い物、SNS、ネットバンク、株取引きなど、事前登録を行いID、パスワードでログインして使用するサービスは増える一方です。またその裏側でID、パスワードの漏えいで不正に利用される事件も後を絶ちません。

パスワードは、銀行ATMカードの「暗証番号」に当たるもので、忘れてしまってそのままのサービスが使えなくなってしまいます。新しいモノは手軽に作れます、忘れたからといって再作成するのはお勧めできません。前の登録内容はそのままの残ってしまいます。それを悪用されたら…（銀行ATMカードの暗証番号を忘れたらといったて新しく口座を作ることはありませんね）**パスワードの管理は厳重にしたいものです。**

① パスワードの作成

「忘れるからかい」といつて簡単なパスワードはやめましょう。「英(大文字・小文字)」「数字」「記号」を組み合わせ、できるだけ長い文字がいいでしょう。(10文字程度が妥当でしょう)複数のサービスを利用しているなら、**同じパスワードは使用せず**、サービスごとに分けることをお薦めします。（一つバレても被害は最小限にとどまります）

② パスワードの管理

サービスごとに異なるパスワードを作成する、覚えるのも至難の業。そこでその記録方法ですが、一番お手軽なのは、「メモに書く」ことでしょう。これではそのメモを無くしてしまうことも考えられますし、誰かに盗み見されることもあるかもしません。

次に手軽にできそなのが、「ファイルに保存しておく」方法です。ワードでもエクセルでもいいのですが、サービスとパスワードなどを力した一覧を作成し保存すれば、紛失することもないでしょう。ただ、保存時には本人以外が開けないように、「パスワード」を設定することを忘れずに。

その他、管理ソフトもありますので、探してみるのもよいでしょう。

<http://pc-iwakura.com/>

二段階認証とは…：

二段階認証は、万が一IDやパスワードが漏れても、もう一つの「認証コード(OTP)

が分からないとログインできない仕組みです。

いつもと異なるパソコンなどでログインしようとすると「認証コード」の入力を求められます。あらかじめ携帯番号やメールアドレスを登録しておくと、その番号にコードが送られ、それを入力します。第三者にはログインできない仕組みです。

GoogleやFacebook、Twitter、Apple ID、Microsoftアカウントなど、その仕組みを利用できるサービスが増えました。

LINEのアカウントが乗っ取られて、友達を装った悪者から金銭をだまし取られる、なんてニュースも耳に新しくなります。これも不正にID、パスワードがどこからか漏れただことにによるものです。これも認証コードの登録である程度防げます。

